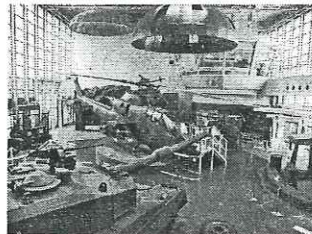


サマーワで実際に使用したという防弾チョッキは12キロ。さらに背囊(リュック)も12キロ。



90式戦車、対戦車ヘリコプターのAH-1S、偵察用オートバイなどが並ぶ屋内の展示場。



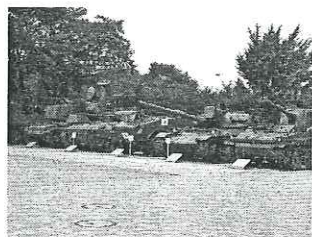
3Dシアターでは5種類のビデオがランダムに上映されている。どれも力作ぞろいなのでぜひコンプリートを!



地下指揮所でも当然なりきりプレイ☆ もちろん、ここも実際に地下に造られている!



さまざまなロゴがプリントされた陸自広報センターオリジナルチョコレート。600円也。



イベント広場には戦車や自走砲、装甲車などがズラリ。大砲っばいのがついていたら「戦車」という訳ではナイ。



陸上自衛隊広報センター

所在地:東京都練馬区大泉学園町(無番地)
☎03-3924-4176
見学時間:10:00 ~ 17:00 / 定休日:月・第4火曜
料金:無料 / 予約不要
<http://www.mod.go.jp/gsdf/eae/prcenter/>

「なんか、シニールですね〜」。冷たい雨のそぼふる中、東武東上線の和光市駅からひたすら歩き続けて15分。過酷な行軍を強いられる歩兵気分を味わいはじめたころ、ようやくたどりついた陸上自衛隊広報センター。通称「りっくんランド」は何やら不思議なところだった。建物の前にはゴツい軽装甲機動車がドーンと置かれているのだが、朝霞駐屯地の横に広報の拠点として作られた施設なので、すぐ隣のゲートでは戦闘服姿の自衛官がしつかり門衛をしていたりして、もうリアルなんだかバーチャルなんだか軽く混乱しそうに……。

気を取り直して入場してみると、メインの展示ホールにはホンモノの戦車やらヘリやら擬装用のネットまでディスプレイされていて、ものすごい迫力。しかし、このりっくんランドのすごさはそこじゃない。本物の戦闘服やヘルメットを借りてその場で着替えることができ、自衛官になりきったところでフライトシミュレーターや射撃シミュレータを体験できちゃ

うんです。何この本格指向!? 実物の背囊はいぶくろやら防弾チョッキを実際に身につけてズッシリした重みを感じたあとは、地下指揮所やイラクのサマーワ宿営地のセットに入って上官&部下ごっこ。「隊長、次は何でありますか!」「プリクラ前に全員整列!」。そう、オリジナルプリクラまで置いてあるんですユコ。

すっかりハメを外した後は、たまたまその日行われていた「トラック体験試乗」に参加して、お隣の朝霞駐屯地内をぐるっと一周。この広報センターではその場で参加できる催しから、各駐屯地でのヘリや戦車の試乗、陸自音楽隊のコンサートなどのレアな催しまでいろいろなイベントを告知・募集している模様。さらに、ここに来れば陸自の情報は大抵わかるようになっていて、全国各地の自衛隊新聞やら情報誌「Miiiba」など、普通の生活ではお目にかかれないレア誌も読み放題。体験型アミューズメントとして、図書館として、そして土産物屋としても楽しめる場所なのでした。